

矢崎 成俊（やざき しげとし）

====ここから====

冬休みの読書メモです▶東野圭吾『夢幻花』. やられた▷山本文緒『自転しながら公転する』. 初「山本」本でやられた▷二冊連続してやられ, のめり込み疲れ. だから軽快にみえた早見和真『店長がバカすぎて』を購入. 同書に触発され本の帯が気になるように▷早速, 三島由紀夫『レター教室』の大型帯「手紙は 100m の爆走。」が気になって購入▷「「了解」と「承知」は違う?」という帯も気になって, 神永暁『悩ましい国語辞典』『さらに……』も購入▷原田マハ『今日は、お日柄もよく』を再読. 主人公の祖母の俳号・驟雨の響きに引きずられ, 吉行淳之介『驟雨』Kindle 版をポチッと購入. 「まるで緑いろの驟雨であった」の一段で情景が心に刺さる▷『驟雨』の前にポチットしたのは中村元『仏教語源散策』. 億劫は長い時間を表す劫の億倍. 面倒くさいことは時間がかかるから億劫というのか, 億劫の時間を計算するだけでも面倒だから億劫というのか▷新刊, ポアンカレ（南條郁子・訳）『科学と仮説』をもらう. 若きアインシュタインはむさぼるように読んだらしい▷1932 年, 国際連盟は 53 歳になったその天才に「今の文明でもっとも大事だと思われる事柄を取り上げ, 一番意見を交換したい相手と書簡を交わしてください」と依頼. 彼の選んだテーマは『ひとはなぜ戦争をするのか』. 相手はフロイト 76 歳▶同テーマの書簡本が冬休み最後の読書となりました.

====ここまで====（587 文字）